



公立大学法人富山県立大学

News Release

富山県立大学

担当：看護学部老年看護学講座

講師 青柳 寿弥

電話：076-464-5410（内線 867）

メール：dlbsn-toyama@pu-toyama.ac.jp

令和4年12月9日

ご本人とご家族の暮らしを支える

サービスって何だろう？

上記テーマでレビー小体型認知症サポートネットワーク富山^{注1}

第21回研修会&交流会を開催いたします

今回の講演では、レビー小体型認知症の人と家族から要望が高い「社会資源」について取り上げます。社会福祉士や主任介護支援専門員の資格を持ち、今もレビー小体型認知症の人や家族の支援をしている吉野氏をお招きし、サービスの選択や利用方法、今後望まれるサービスについて幅広くお話しいたします。本研修会では、これらの知識を身に着け、実践につなげる場を目指しています。

- 日時 令和4年12月17日(土)14時00分～16時00分
(16時00分以降は参加自由の交流会を開催します。)
- 場所 富山県立大学 富山キャンパス 教育棟4階405看護学実習室
- 参加者 認知症の本人や家族、専門職者等どなたでもご参加いただけます
- 内容 講演テーマ
「レビー小体型認知症の本人と家族を支える社会資源」
講師：社会福祉士 主任介護支援専門員 吉野 英樹 氏
(社会福祉法人 宣長康久会 特別養護老人ホームささづ苑)
交流会
顧問の医師や認知症看護認定看護師、大学教員等が運営します。
- その他 取材を希望される場合は、事前に上記担当者までご連絡ください。

注1)「レビー小体型認知症サポートネットワーク(略称、DLBSN)」とは・・・

2008年に発足した家族会「レビー小体型認知症家族を支える会」の後継組織であり、全国19エリアで活動しています。アルツハイマー型認知症に次いで2番目に多いとされるDLBについて、本人や家族だけでなく、専門職者なども含めて、病気やケアについて学び、情報共有しながら支え合えるよう取り組んでいます。